

定住外国人実態調査の結果について

県では、県民の多文化共生に関する意識やニーズを的確に把握することを目的として、外国人住民及び日本人住民に対して「定住外国人実態調査」を実施しました。

調査結果は、平成29年度に改定する「群馬県多文化共生推進指針」や、今後の政策立案の基礎資料とする予定です。

I 調査の概要

区分	1. 外国人調査	2. 日本人調査
対象	県内在住の外国人住民 〔ブラジル、中国、フィリピン、 ペルー、ベトナム〕	県内在住の日本人住民
回答人数	1,115人	1,313人
方法	調査員の戸別訪問による聞き取り調査	戸別に調査票をポスティングし、郵送で回収
地域	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、大泉町	
期間	平成28年7月1日～10月31日	平成28年7月1日～10月7日
内容	・定住に関する考え ・近所に住む日本人との交流 ・情報の入手方法 ・医療機関での受診 等	・外国人住民との関わり ・外国人住民が増えることに関する考え ・地域社会における外国人の活躍 等

※前回調査は、平成22年12月1日～平成23年2月28日に実施。

II 調査結果のポイント ()内は前回調査の数値

1. 外国人調査

(1) 日本での定住 ～ 約6割が「今後も日本に住み続けたい」～

- ・「今後も住み続けたい」 58.3% (69.0%)
- ・「仕事や子供の勉強の区切りが
ついたら帰国する」 7.8% (6.4%)
- ・「わからない」 33.0% (24.7%)

※景気の低迷や東日本大震災等の影響はあるものの、約6割が定住の意識を持っている。

(2) 日本人との交流 ～ 積極的な交流意識は、依然として高い ～

- ・「積極的に交流したい」 67.0% (72.0%)
- ・「必要最低限の交流でよい」 26.3% (21.7%)
- ・「交流しなくてもよい」 3.9% (1.0%)

※前回調査と比較するとやや低下しているものの、日本人との交流意識は高い。

(3) 情報の入手方法 ～ 高い「友人・知人の口コミ」の割合 ～

(複数回答)

- ・「友人・知人の口コミ」 60.0% (64.9%)
- ・「日本語のメディア（新聞・TV など）」 45.9% (-)
- ・「SNS（フェイスブックなど）」 36.8% (-)

※外国人住民への情報提供のツールとして、SNSの活用も有効であると考えられる。

(4) 医療機関での受診 ～ 病院でのコミュニケーションは困難 ～

「日本語で、医師や病院の職員とコミュニケーションをとることができますか」の問いに

- ・「できる」 53.9%
- ・「できない」 44.8%

※「できない」と回答した人のうち、「身振り手振りで伝える」人が15.8%。
自らの症状を伝えたり、医師等の説明を理解できるのかが懸念される。

(5) 一番困っていることは ～ 日本語が分からない ～ ～ 困っていることはない人も多い ～

「一番困っていることは何ですか」の問いに

- ・「日本語が分からない」 17.5%
- ・「困っていることはない」 15.4%
- ・「日本人社会に受け入れられていない」 14.7%
- ・「失業、または経済的に苦しい」 10.7% など

※言葉の問題を抱えている外国人住民が多い一方で、日本での生活に適応していて「困っていることはない」と感じている外国人住民も多い。

2. 日本人調査

(1) 外国人住民との関わり ～ 積極的な人が増加 ～

「外国人住民との関わりは深めるべきだと思いますか」の問いに

- ・「積極的に深めていくほうがよい」 13.6% (10.2%)
- ・「生活上、必要最低限の交流はしたほうがよい」 50.6% (53.2%)
- ・「特に深めなくてもよい」 20.0% (23.2%)

「あなた自身は、外国人とどのように関わっていきたいですか」の問いに

- ・「積極的に関わっていきたい」 11.7% (8.0%)
- ・「今くらいの関わり方でよい」 48.3% (48.0%)
- ・「あまり関わらないようにしたい・関心がない」 37.4% (44.0%)

※外国人との関わりについては、消極的な人が減り積極的な人が増える傾向が見られる。

(2) 外国人住民が増えることに関する考え

「あなたがお住まいの地域に外国人住民が増えると、つぎのような状況が生まれると思いますか」の問いに

- ・「日本固有の文化がそこなわれる」 22.5% (26.4%)
- ・「地域の活性化につながる」 53.6% (49.2%)
- ・「治安・風紀が乱れる」 55.5% (61.2%)
- ・「労働力が補充される」 75.4% (71.9%) など

※肯定的な回答の割合が増加し、否定的な回答の割合は減少している。

(3) 外国人の増加や外国人支援に関する意識は、年代により異なる

- ・「日本にやってきた外国人の中で定住する人たちが増えること」を「好ましい」と回答した人の割合

20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
30.1%	15.8%	10.1%	10.0%

- ・「日本人と結婚して日本に住む外国人が増えること」を「好ましい」と回答した人の割合

20代以下	30～40代	50～60代	70代以上
46.9%	21.2%	16.2%	11.7%

※若い年代ほど、外国人の増加について肯定的に考える傾向が見られる。

(4) 地域社会における外国人の活躍

「外国人が地域社会で活躍することについてどう思いますか」の問いに

- ・「好ましい」 48.0%
- ・「わからない」 31.7%
- ・「好ましくない」 18.5%

※「好ましい」割合が最も高いものの、「わからない」割合も高く、外国人が地域社会で活躍することへの判断がつかない人もいる。

Ⅲ 主な調査結果

別添の資料のとおり。